

広
報

富良野

NOVEMBER 2010

No.590



○五条商店会主催のおばけカボチャづくりに親子など30組が挑戦。思い思いにつくられたおばけカボチャはハロウィン（10月31日）まで東五条通りの沿道に飾られました。（フラノ・マルシェにて）

1 1

特集 P 2 - 8 煙と汗の染み込んだその背中をあなたは知っていますか？

紫紺の背中 - 富良野消防団 -

P12 - 13 地域活動レポート⑦

伝統の樹海駅伝など、地域一丸で子どもたちを育成。高齢者スポーツへの展開も

P16 ズームアップふらの P18 消費生活・健康情報

P20 暮らしの情報

編集 富良野市企画振興課



特集

「富良野消防団」

紫紺の背中

災害からまちを守る消防団。背負うのは家族、郷土への思い…。
煙と汗の染み込んだその背中をあなたは知っていますか？

消防団とは、火災の消火活動や災害防衛活動、救命活動などを行う住民の有志で構成される組織です。消防職員とは異なり、普段はそれぞれ仕事を持っており、災害などが発生したときに出動します。具体的には火災の消火活動、災害での住民の避



1

富良野広域連合富良野消防団 Furano volunteer fire fighters

災害現場の一線で尊い命とかけがえのない財産を守る男たち

私たちの命や財産を災害から守るまちの消防団。富良野消防団は現在166人（定員180人）。万一の災害に備え、仕事のかたわら訓練に励んでいます。

富良野の消防の歴史は市街地を形成し始めた明治37年の私設消防組設置からはじまりました。その2年後には公設へと切り替わり、昭和14年には防空上の必要から、消防組から警防団へ再編成されました。そして、昭和23年、戦後日本の民主化政策に

2

富良野消防の歴史と組織体制

The history and the system of Furano rescue team

5分団制により、地域密着型の体制を維持

富良野消防団は富良野、東山、山部、麓郷、布部の各地域に分団が配置され、消防署から遠い農村地域においてもすぐに対応できる体制をとっています。

消防組織配置図



より、消防行政を各自治体で担うこととなり、富良野での自治体消防は各地域の消防団と翌24年の消防本部設置によって発足しました。以来、消防組織は自治体消防の職員で構成される常備消防と消防団によって、その役割を果たすことになりました。

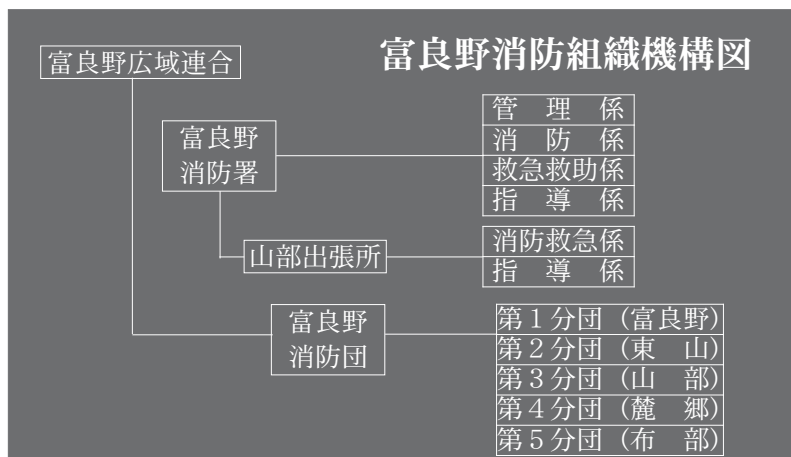
昭和42年には富良野消防署が設置され、地理的条件を考慮し、布部・麓郷・東山・山部にそれぞれ分遣所を置き、より機動的な防災体制が整えられました。そして、昭和44年に1市1団制施行に伴い、富良野消防団を5分団に編成し、現在の消防機構の土台を築きました。

昭和49年には、行政の効率化と広域化による消防行政の充実を目的に富良野市、南富良野町、占冠村の1市1町1村で一部事務組合として富良野地区消防組合が設立され、平成21年には、上富良野町と中富良野町も入れた1市3町1村で構成される富良野広域連合が設立されました。効率化を図りながらも、地域に根ざした消防体制は必要であり、それぞれの地域に消防団を配置しています。



富良野消防団第1分団(富良野)の月一回の定例訓練の様子。実践を想定しながら、消火活動の一連の動き、消防車の操作など丁寧に確認していました。

富良野消防組織機構図



難誘導、救急患者の応急処置、ドクターヘリのランデブーポイント（ヘリの着陸地点）の整備などを行い、専門的な知識・技術を持つ消防職員を支える重要な任を担っています。

富良野消防団は、月一回の定例訓練のほか、年初めに行われる「出初め式」、春・秋の火災予防運動、6月の消防訓練大会、9月の防災訓練などの活動を行っています。また、消防活動における知識・技術の習得を目的に各種研修会にも参加し、万一の災害に備えています。



3

富良野市総合防災訓練

Extensive emergency drills

住民、消防、自衛隊、市役所、まちを挙げての防災訓練

9月1日に行われた『富良野市総合防災訓練』。今回は駅東側住宅街の一部と東山地区の住民、消防署、消防団、自衛隊、市役所が一体となり、水害を想定した訓練を行いました。



■写真の説明■

- ①救助訓練、被災者を応急処置②救助訓練、救助前の任務確認③訓練前に消防署で点呼④自衛隊と炊き出し訓練⑤消防車に乗り災害発生を周知⑥救助訓練を見守る住民⑦放水訓練⑧小隊訓練⑨訓練が終わり、ホッと一息

今年は「異常気象」の話題が頻繁に報道され、管内でも局地的な豪雨による土砂災害で交通が寸断するなど住民生活に大きな影響を与えています。そのような中、9月1日に富良野市総合防災訓練が行われました。訓練には総勢約500人が参加し災害時の備えについて確認しました。富良野消防団は実践を想定しながら、住民の避難誘導、救助、炊き出しなど多岐に渡る任務を5分団で分担し、各分団長の指示に従い、迅速に任務を遂行しました。

4

定例訓練 regular training

小隊訓練、放水訓練。実践を想定

月1回行われる定例訓練。隊列を組み、集団で動く小隊訓練、火を鎮火させる放水訓練、消防車や消防器具などを扱う操作訓練などを行います。



5

消防団員のもうひとつの顔

Lifestyle of volunteer fire fighters

家族、郷土への思いを背負う

親父の背中

消防団員は、常に訓練を行っているわけではなく、普段はそれぞれ仕事を持っています。そして、万一の災害や火災が起これば昼夜を問わず現場に急行し、私たちを守ってくれています。その団員たちの普段の顔をクローズアップしました。



第5分団【布部】
磯江 敏邦 団員



第4分団【麓郷】
前田 秀人 団員



第3分団【山部】
糠谷 諭 団員



第2分団【東山】
鈴木 弘美 団員



第1分団【富良野】
上杉 日出男 団員

うえすぎ ひでお

上杉 日出男 さん (35歳)

第1分団【富良野】第2部班長

団員歴15年

建築・
板金業

19歳で家業を継ぎ、へそ祭りや地域活動にも貢献。頼れる兄貴分。

住宅の外壁リフォームなどを行う建築板金業上杉板金の専務を務める上杉日出男さん。第1分団の班長の中ではダントツに若いですが、経験年数も長く、周りからの信頼も厚いようです。富良野青年会議所の後輩水間さんは「ポイントポイントで適切なアドバイスをくれるし、支えてくれる。頼りになります」と尊敬の眼差しを向けます。消防団に入ったきっかけは、近所付き合いのあった消防署員の誘い。「団に入って、全く異業種の方々とつながりができたことは自分にとって大きいです。いろいろな話や考え方を聞き、影響を受けました」と話します。火災現場では消防車を扱う機関員の指揮をとり、「実際に現場に行き、火事の悲惨さを知りました。平常心ではいられません」と火災の恐ろしさを語ります。消防団について「仕事以外で地域の役に立てるところに居させても



らっています」と謙虚に話す一方、「団員の意識の格差はあります。思いを共有していかなければ」と問題意識を持ちます。また、「団員の確保は大変です。みんなの声かけと、企業や周りのみなさんに理解していただけるよう取り組んでいきます」と抱負を語ってくれました。

妻と小2の長女、5歳の長男の4人暮らし。趣味はスポーツ観戦。「日ハムよりも巨人ファン！」



すずき ひろみ
鈴木 弘美 さん (58歳)
第2分団【東山】副分団長
団員歴34年

農業

両親と妻、共に働く長男の5人暮らし。作っている野菜は、たまねぎ、麦、ビート、じゃがいも。

東山で農業に生き、 50人の大分団の中核を担うベテラン団員

東山で、農業を営む鈴木弘美さんは団員歴34年の大ベテランです。しかし、「サイレンがなって、出動する時は緊張しますよ」と経験豊富な鈴木さんでも入団当初と変わらず恐怖心・緊張感があると話します。第2分団は富良野消防団の中で一番の大所帯。富良野消防署から遠く、範囲が広いため、多くの消防団員が必要となります。「東山は範囲が広く、家が点在しているので、現場に行くのが大変です」と鈴木さん。また、現在の団員は農家が9割を占めており、「農家は昔も忙しかったが、今は雨も関係なく仕事をするので、訓練など時間をつくるのが大変な状況です」

と課題はありますが、「多くの人に防災や消防団について認知してもらうには、50人という多くの団員がいるのは最大の強み。家族、身内、近所と伝えてもらうだけでも大きいですよ」と第2分団ならではの強みもあります。また、「消防団活動を通じて地域住民とコミュニケーションも取れます」と地域内交流の一助ともなっているそうです。

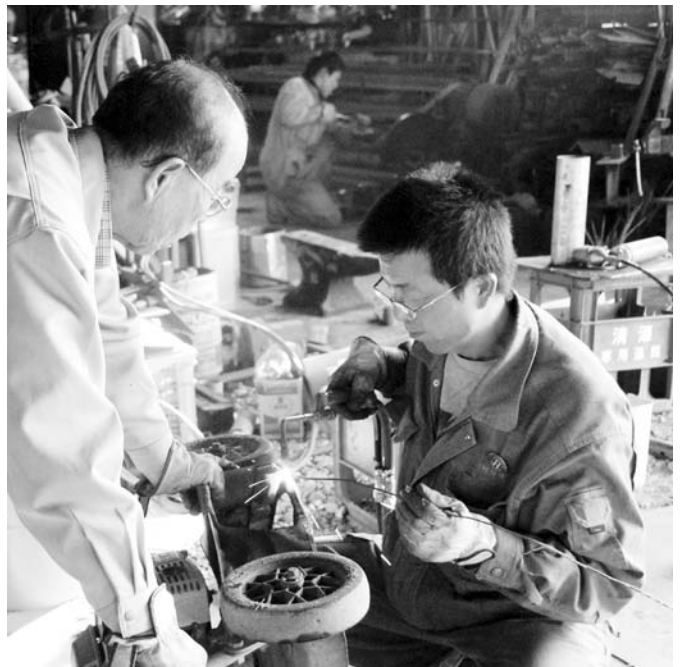
ぬかや さとし
糠谷 諭 さん (46歳)
第3分団【山部】第2部部長
団員歴24年

建設・
鉄工業

親子3代で会社を営む 地域を盛り上げる人望厚き鉄工職人

山部で農機製造・修繕や上下水道の整備などを行う糠谷鉄工所の専務を務める糠谷諭さん。父親が会社の社長、長男が従業員として勤めており、親子3代で一緒に仕事をしています。現在は第3分団第2部の部長を務め、過去には何度も燃えさかる火の中で消火活動にあたったそうです。「壁が崩落してきた時は恐かったですね」と体を張って火災現場に立ち向かいます。「団に入って、防災に対する意識が変わり、家族にもうるさく言うようになりましたね。それから、よく団員に言うのが、『他人にできなくても、自分の家族だけでも守ればいいじゃない』ってこと。そこから徐々に活動の幅が広がっていいと思います」と根底にあるのは家族への思い。その上で消防団活動の普及、団員の育成にも力を注ぎます。

糠谷さんは、商工会やまちおこし委員会の役員も務め、山部のさまざまなイベントに携わるほか、



山部獅子舞保存会で伝統文化を子どもたちに伝えていきます。「山部は春のさくら祭りから秋までイベントが盛りだくさんで大変ですが、子どもの喜ぶ姿がやりがいです」と仕事、消防団活動のかたわら、地域の活動にも奮闘しています。

両親と妻、ともに働く長男、看護学生の長女の6人暮らし。趣味はスノーモビル。2月のやまべゆきんこ祭りでは子どもたちを乗せて走ります。

まえだ ひでと
前田 秀人 さん (44歳)
第4分団【麓郷】第1部団員
団員歴11年

常勤団員

技術・行動力、頼れる常勤団員。 麓郷でクロカンを熱血指導



麓郷市街地の消防団庁舎に24時間体制で常駐する前田秀人さん。火災や水害などの他、救命にもあたり、麓郷の住民を守っています。

前田さんは、「サイレンが鳴ると、作業を投げ出し現場へ急行するので、たまに作業中だった草刈機のエンジンを止めたかな？と心配になることがありますね」と一刻を争う消防・救命活動に全力で取り組みます。また、「自分たちも消防職員の指示のもと、前線で消火活動もやるし、被災者の応急処置もします」と消防団員の役割の大きさを話します。第4分団については「まとまりがあると思います。もともとの地域のつながりがあるし、夏は一緒に焼き肉をして親交を深めています」と消防活動に不可欠なチームワークに自信を持っています。消防活動は毎月の訓練のほか、春と秋に煙突がしっかり接続されているかなど一般家庭全世帯を査察に回り、地域に密着した活動を行っています。

前田さんは、消防団活動のかたわら、地元麓郷でクロスカントリーを子どもたちに教えています。中学時代はクロスカントリーの全道チャンピオンという経歴を持ち、指導にも熱が入ります。

妻と高3の長男、小6の長女の4人暮らし。趣味は車いじり。クロスカントリー少年団コーチ。

いそえ としくに
磯江 敏邦 さん (44歳)
第5分団【布部】分団長
団員歴15年

農業

地元を愛し、熱き思いで 若きチームを束ねるニューリーダー

布部で、農業を営む磯江敏邦さん。磯江さんは若くして第5分団の分団長に就任。富良野消防団の中で、平均年齢の一番若い分団を統率しています。消防団の高齢化が進む中で世代交代ができていくことについて聞くと「あのへんに若いもんがいるぞ！って聞けば自宅に訪問して口説きます」と地道に声かけを行っているそうです。磯江さんが分団長に就任した時のこと、「第5分団の看板を掲げているから、地域を守ろうという意識が保てると思います。俺が分団長をやるからついてくれと団のみんなに言いました」と磯江さんのリーダーシップと地元を愛する思いが団員に伝わり、若くして分団長に就任しました。また「危険が伴う消防団活動は地域のために何かやりたいという思いがないとできません」と消防団の熱き精神を語ります。

磯江さんは、「団員の確保のため、引き続き声か

けをしていくこともそうですが、自分はまだ分団長として日が浅く経験が少ないです。部長や班長も同じで経験の浅いメンバーなので、その私たちが現場で力が発揮できるように、まずは結束を固めていきたいです」と抱負を語ってくれました。

両親と妻、中3の長男、中1の長女、2歳の次男の7人暮らし。趣味は船釣り。釣りの仲間と年に数回カレイ釣り。



6

連携体制 Coordinated system

住民、消防団、消防署、病院、命のリレー



ささき けんいち
佐々木 賢一 署長
富良野消防署長

昭和49年富良野地区消防組合消防士拝命。広域連合発足の昨年4月から富良野消防署長。富良野軟式野球連盟役員として、学童野球など軟式野球の普及にも貢献。

「地域において、消防団の活動は非常に大きく、なくてはならないものです。水利の場所、どこに誰が住んでいるのか、消防職員が富良野の隅々まで把握するのは困難です。また、災害は時間との勝負、地域をよく知る消防団と連携していくことが重要です。『急病などで突然、呼吸や心臓が止まった人を、札幌では助けられるが富良野では助けられない』そんな悔しいことはありません。今は、ドクターヘリの活用で、事故など重篤な傷病者を都市部の病院へ搬送する体制も整っています。昨年は富良野で29件の出動を要請しました。ランデブーポイントと呼ばれる、ヘリの着陸地点を整備するのも地域の消防団の方々です。消防団との連携体制があれば医療格差を埋めることができます。住民、消防団員の救命処置、救急救命士が行う高度な救急処置、そして医療機関における高度な救命医療、救命のリレーを確立し、数パーセントしか助かる見込みがなくても、最善を尽くし、救える命はなんとしても救いたいと思います」

数パーセントでも、救える命はなんとしても救う



「火災は少なくなってきたものの、それでも年に数件の悲惨な火災事故があります。私たちはその火災をできる限り最小限に抑えようと日々訓練を行っています。火の手は待ってくれません。1分1秒を争います。また改造した店舗などは鉄骨が飛んでく

るなど危険と隣り合わせです。ですから、経験、知識、迅速かつ適切な状況判断、機動力などいろいろな要素が求められます。今の団員たちは、それぞれの持ち場で、よく仕事をしてくれるので、信頼を持っています。指揮がとれます。しかし、組織として体制を維持していくには、世代交代をしていくことが必要です。それには、企業の理解を得ていくことも必要です。活力あるみなさんに、消防団へぜひ入ってほしいですね」

わかみや えいいち
若宮 栄一 団長
富良野消防団長 団員歴40年



昭和43年富良野消防団入団。今年4月から富良野消防団長。現在、富良野軟式野球連盟の役員も務め、審判歴30年以上。

1分1秒を争う火災現場。迅速かつ適切な状況判断と機動力が求められる

みずま はじめ
水間 一 さん (27歳)
第1分団【富良野】第2部団員
団員歴5年



両親と3人暮らし。趣味はお酒と映画鑑賞。

葬祭業

「当時の団は10歳以上年の離れた先輩ばかりでしたが、団のことなどいろいろと教えてくれて、親切にしてもらいました」と入団した当手を振り返ります。まち場の飲食店で火災が起こった際のこと「風下において、煙に包まれ、死ぬかと思いました」と壮絶な現場を経験しましたが「火災現場に行ったからには、なんとしても消したいと思いますね」と頼もしく話します。「消防団は、若い人が少ないので、入ってもらえるように地道に声かけをしています」と将来を見据え、同世代の仲間づくりに奮闘しています。

未来を担う紫紺の背中

おおishi じゅんのすけ
大石 純之介 さん (24歳)
第3分団【山部】第2部団員
団員歴1年



両親と妹と4人暮らし。趣味は最近買った一眼レフカメラでの写真撮影。

農業

入団のきっかけは、以前の団長の誘い。最初は断っていたそうですが、自宅に訪問し説得する団長の熱意を感じ、入団を決めました。消防団について「やりがいがあります。訓練では消防車に乗ったり以外にもいろいろな面もあります」と消防活動を楽しみながら学んでいます。また、「団に入って、まちのどこに消火栓があるか気にするようになりましたね」と消防団員としての自覚が芽ばえてきています。「山部に住む若い人たちの多くは農家なので、そういう人たちを入れていきたいですね」と今後の抱負を語ってくれました。



大正2年当時の下富良野駅（現富良野駅）

開業110年

愛され続ける富良野駅

旭川駅が高架化
富良野線は増発

「富良野駅は明治33年に開業して以来、110周年を迎えました。この間、朝夕の通

国鉄の官舎があつて、職員とその家族で賑わっていた。駅前で50年以上、商店を営む長江さん（長江セトモノ店）。「店を

勤・通学や出張などの市民の皆様の生活の足として、また、行楽期には国内外を問わず沢山の観光客の皆様にもご利用いただき、大変ありがたうございました。この記念すべき年に折しも旭川駅が新高架駅として開業し、これまで懸案でございました暗く長い富良野線ホームへの地下通路も解消され、バリアフリー化もされました。また、富

始めた昭和30年頃は旧国鉄の官舎があり、職員とその家族で駅周辺は賑わっていました。食堂が何軒もありましたよ。当時は石炭が燃料で、燃料を補給するために停車時間が長く、その時間に駅前の食堂が弁当を背負って駅に売りにいったものです。『北の国から』が放映された頃から多くの観光客が訪れ始め、当時は、宿泊施設も今ほどなかったのです。店の隣で



ふるかわとしむ
古川敏美駅長（53歳）
昭和50年 J R 北海道入社。
平成20年3月より富良野駅
長に就任。

良野線は12月4日から朝6時台の上り列車が1本増発となり大変便利になります。これからは富良野駅は皆様に愛される駅を目指し頑張りますので、市民の皆様にはこれまで以上にご利用をお願いします」

いま、むかし

野宿する観光客も多かったです。ホームでへそ踊りを踊って歓迎したこともありましたね」と富良野駅の移り変わりを見てきた長江さんは、懐かしそうに語ってくれました。



ながえかねのり
長江金剛さん（82歳）
昭和30年長江セトモノ店開業。
写真は開業当時から店のシンボルとなっている陶器の狸。



10月23日、秋晴れの下、富良野駅の開業と富良野線の開通110周年を記念して、市民ツアーが行われました（JR北海道富良野駅主催）。ツアーには市民約100人が参加し、富良野駅からノロッコ号に乗り、秋の風景と富良野駅に関するクイズなどで楽しみました。旭川では高架化された新駅舎を見学しました。新駅舎には9万枚近くの木材が使用され「木のまち・家具のまち旭川」を象徴した建物となっています。駅南

富良野駅
開業110周年記念ツアー

側は忠別川など緑空間となっており、それら自然環境と調和した開放感溢れるつくりとなっています。夫婦で参加した富澤健さん（71歳）は、「紅葉風景を車窓から見ようと参加しました。晴天だし、景色を見ながら、楽しそうに会話をしていました。ツアーに協力した富良野市根室本線・富良野線利用推進協議会は、これを機に利用促進に繋がればと期待を寄せます。



リニューアルされた旭川駅。9万枚近くの木材が使用され、自然環境に調和した開放感溢れる駅舎となっています。

富良野線の早朝便が増発になります。午前6：48富良野発～午前8：15旭川着 12月4日運行開始

受賞

おめでとうございます

ありがとうございます

感謝

市条例表彰に基づく「功労表彰・貢献表彰」と富良野市文化団体協議会から贈られる「文化功労賞・文化奨励賞」の表彰式が11月3日に行われ、次の方が表彰されます。※年齢は8月1日現在

【功労表彰】 自治功労



鈴木 弘美さん 58歳

平成7年3月より現在に至るまで15年にわたり、固定資産評価審査委員会委員として他の委員と共に委員会運営に尽力され、特に平成20年6月から委員長としてその手腕を発揮され、本市の自治振興に尽力されました。



島崎 江子さん 73歳

昭和53年1月から平成10年3月まで20年にわたり交通指導員として、また、平成12年4月から現在まで10年にわたり交通安全指導員として、交通安全運動の推進及び交通安全思想の普及並びに啓蒙に努めるなど、安全で安心して暮らせる地域づくりに尽力されました。



石井 勇さん 77歳

昭和44年2月から現在まで41年にわたり、交通安全指導員として、交通安全運動の推進及び交通安全思想の普及並びに啓蒙に努めるなど、安全で安心して暮らせる地域づくりに尽力されました。



佐々木 正子さん 65歳

昭和54年7月から平成10年6月まで18年にわたり交通指導員として、また、平成12年4月から現在まで10年にわたり交通安全指導員として、交通安全運動の推進及び交通安全思想の普及並びに啓蒙に努めるなど、安全で安心して暮らせる地域づくりに尽力されました。



金一 恒男さん 79歳

平成元年4月から現在まで21年にわたり、交通安全指導員として、交通安全運動の推進及び交通安全思想の普及並びに啓蒙に努めるなど、安全で安心して暮らせる地域づくりに尽力されました。



武藤 一男さん 70歳

産業経済功労

平成5年1月に空知川上流土地改良区理事、その後平成9年1月からは同改良区第5代理事長に就任し現在まで17



保健福祉功労



東所 榮子さん 69歳

平成3年12月、人権擁護委員に就任以来、平成21年12月まで18年にわたり、人権啓発活動や人権相談などの活動に尽力され、自由人権思想の普及高揚に積極的に努められました。また、昭和61年4月に健康づくり推進員及び食生活改善推進員に就任し、健康づくり推進協議会会長、食生活改善推進協議会会長も歴任し、24年にわたり地域保健の推進に尽力されました。

年にわたり農業生産基盤の確立に指導力を発揮されました。平成21年6月からは山部二期地区国営事業促進期成会会長に就任し、地域農業の安定生産確保のための基幹施設である頭首工の改修などの実現に向け尽力されている。さらに、平成4年、20年には農事組合長も務め、地域農業の振興発展に尽力されました。

教育体育功労



長田 寿弘さん 59歳

昭和63年4月体育指導委員に就任以来、現在まで22年にわたり、富良野市スポーツ振興計画策定や市民の体力づくりに尽力され、また、平成15年4月からは東山体育振興会長として東山地域のスポーツ振興、普及発展に尽力されました。

【貢献表彰】

地域自治・地域振興に貢献



重綱 一雄さん 80歳

昭和33年から現在まで52年余の長きにわたり、軟式野球審判員として年間120試合

にも及ぶ審判員を務め、特に少年野球リーグ戦の企画運営にあたるなど、スポーツを通して青少年の育成に尽力されました。また、平成5年から現在まで全日本下の句かるた協会一声かるたクラブ会長として17年にわたり子ども会かると大会の企画運営にあたるなど文化の振興に大きく貢献されました。



澤井 彰さん 79歳

平成8年1月から平成16年1月まで8年にわたり春日・東町連合町内会会長、平成16年1月から現在まで6年にわたり春日・東町連合会顧問を務めるなど地域活動を先導し、地域振興に貢献されました。また、昭和59年から高齢者社交ダンス愛好会で10年、昭和60年から高齢者ダンス研究会で25年にわたり指導にあたるなど高齢者の生きがいづくりなどに大きく貢献されました。



高橋 秀雄さん 65歳

昭和63年4月から子ども会育成員として、富良野地区子ども会育成協議会、富良野市子ども会育成連絡協議会の役員として20年にわたり務め、特に平成8年4月から平成19年3月まで富良野地区子ども会育成協議会副会長、平成19年4月から平成22年3月まで富良野市子ども会育成連絡協議会会長を務めるなど青少年の健全育成に大きく貢献されました。

文化功労賞・文化奨励賞

【文化功労賞】

佐々木 広道さん

昭和59年、中断となっていた富良野獅子舞保存会の復活に尽力され、以来、会の指導員として子どもたちの育成に力を注ぎ、これまで数多くの踊り子を育ててきています。

現在は会長として会の運営や会員相互の和と発展に寄与し、日本の伝統文化である獅子舞を通して、地域の郷土文化の発展に大きく貢献されました。

穴戸 勝美さん

昭和50年に山部民謡研究会（現山部好謡会）に入会。現在、北海道民謡連盟公認三味線大師範を取得し、会員への指導とともに山部好謡会の講師としての運営、会員相互の和と会の発展に寄与しています。民謡・三味線を通して地域の文化振興発展に大きく貢献されました。

藤間流 富踊会

代表 正盛 恒子さん
昭和34年4月に会を設立。これまで藤間勘範嘉先生の指導のもと7人の藤間流名取と6人の五葉の会の名取を輩出しています。
会の発足以来、半世紀に渡り日本伝統の藤間流舞踊を普及し、子弟の情操教育を高め多くの市民に親しまれる庶民性溢れる舞踊を続けるなど、地域の文化振興発展に大きく貢献されました。

【文化奨励賞】

日本将棋連盟 富良野支部

代表 鈴木 茂喜さん
平成7年9月に会を設立。市の行事への積極的な参加・協力を行い、また、将棋の小児普及のため小中学校の将棋サークルなどへ自ら出向き、出向将棋にも努められていきます。会の発足以来、長きに亘り地域文化の高揚発展に寄与するとともに生涯学習の推進に努め、地域の文化振興発展に大きく貢献されました。

ふらの舞花

代表 布施 明美さん
平成9年2月に会を設立。同年によさこいソーラン祭りに初出場を果たし、以降、10回出場表彰、上川中央支部大会審査員特別賞を受賞しました。市の行事にも積極的に参加し、また社会福祉施設への慰問や、中学生への指導も行っています。
会発足以来、よさこい踊りを通して地域の文化振興発展に大きく貢献されました。



丘陵地帯のコースでたすきをつなぐ樹海駅伝競技大会。秋晴れの下、快走する地域住民

伝統の樹海駅伝など、地域一丸で子どもたちを育成。高齢者スポーツへの展開も

東山体育振興会

収穫作業もやや落ち着いた10月1日、秋晴れのもと、東山の秋の恒例行事「樹海駅伝競技大会」が行われました。小・中学校をはじめ、農協青年部など地域住民も参加するこの大会は、アツプダウンの大きな丘陵地帯のコースでたすきをつなぎます。沿道では農作業の手を止め応援する姿が見られ、選手は声援に力走しました。中学生の部で優勝したチーム「We♡JU KAI」のキャプテン樹海中学校3年松本蒼志さんは「中学での3年間の中で一番いい走りができました」と話し、同メンバーの東藤和真さんは「最後まで走れてホッとしています」と二人とも3年間の集大成を発揮できたようです。樹海駅伝競技大会をはじめ、東山の子どもの育成や地域住民の体力向上に関する取り組みを行うのは東山体育振興会（長田会長）。昭和41年に東山文化連盟として発足し、その後、組織の拡充、活発化を目的に体育部門が独立し、現在に至ります。主な事業は駅伝、ソフトボール、テニス、パークゴルフ、ミニバレーボールなどの大会運営。長田会長は「昔は、子どもがたくさんいて、子どもたち対象の

寿光園で、定期的にフォークダンスを指導しているのは、富良野フォークダンスサークル（工藤恭子代表）。寿光園との交流は今年で9年目。最近では、お年寄りも職員も、寿光園の一員のように迎えてくれるそうです。6年前からは、山部中学校の生徒が授業の一環として加わり、交流の輪が広がりました。フォークダンスサークルは、大会や講習会などに積極的に参加し、高度なダンスを楽しむ「本格派グループ」と、簡単なダンスで体を動かすことが主目的の「運動不足解消グループ」の2グループがあります。「本格派グループ」は、毎年60曲もの新たな楽曲のダンスを習得するそうで、厳しい練習もあります。どちらのグループも「とにかく楽しく仲良く」を基本に取り組んでいます。「フォークダンスを体験した方が、『楽しかった』『また踊りたい』と言ってくれると『よし！またがんばろう』と思えます」と話す代表の工藤さん。最近では、ワインぶどう祭りのぶどう踏みの選曲と振り



寿光園でお年寄りや生徒にダンス指導をする工藤さん(右)

レベルに合わせて笑顔でダンス♪「楽しく仲良く」を合言葉に

富良野フォークダンスサークル

つねき なおと 恒枝 直豆さん

山部

多くの出会いが糧となり陶芸作品に反映されます



陶芸工房「楽葉窯」。穏やかな表情で作品と向き合う恒枝さん

行事を主に行っていました。今は子どもが少なくなり、地域住民も含めた中で事業を展開しています」と少子高齢化が進む中でその実態に合わせて形を変えながら工夫して取り組みを行っているそうです。また、「各大会を運営するのも

人集めが大変ですが、子どもたちの元気な姿や、地域住民の熱くなっている姿を見るのがなにより」と苦労はあるが、各取り組みの成果に充実した様子。今後の展開については、「高齢化が一層進む中で二ニュースポーツを取り入れる

など高齢者向けの取り組みも行っていきたいです」と話します。また、東山の子どもたちについて尋ねると「今のまま素直で伸び伸びと育ってくれたらいいです」と子どもを見守るあたたかい眼差しを浮かべ語ってくれました。

山部南陽地区の旧山部第二小学校跡の「アートファーム南陽館」に備前焼の工房「楽葉窯（らくようがま）」を構え、陶芸家として生計を立てているのは恒枝直豆さん。岡山県倉敷市出身39歳。

会社員で研究職だった父と同じ進路をたどることが当たり前のように感じ、愛媛大学工学部に入學。在学中は旅行が趣味で、休みのたびに方々へ出かけることが何よりの楽しみでした。そして、旅先でふれあう人たちとの会話、交流を楽しんでいるうちに、「自分の将来は父と同じ会社員でなくても良いのでは？」と考えるように。特に、自営業者に多くの刺激を受けたと振り返る恒枝さん。旅先の中でも特に好きだった、美瑛や富良野の民宿や飲食店でアルバイトをしながら生活をした時期もあり、次第に自営業への思いを強くしていきました。

大学卒業後、一度は会社員として地元の工場に勤めましたが、責任の所在がいまいる環境が肌に合わず1年で退職。その後、再び富良野の飲食店にお世話になっていましたが、小学生のときに陶芸店を営む母と訪れた窯元で、粘土遊びをした記憶がよみがえり、陶芸の道を探るため実家に戻りました。

陶芸家に弟子入りし、しばらくして師匠の紹介で県の陶芸研修施設に入ったところ、転機が訪れます。富良野から突然の連絡。「廃校があるんだけど来ないか？」と誘いを受けました。備前焼の世界の窮屈さを感じていた恒枝さんは、「北海道で焼き物をやるのも良いかな」と考え、このとき陶芸家への道と、富良野への移住をはっきりと決断します。また、この決断と同じくして、長年お付き合いをしていた奥さんとの結婚を決意し、心機

付け、福祉施設でのレクリエーションを任されるなど、ボランティア活動を通して、フォークダンスの楽しさを伝えていきます。「全道の愛好会との交流や、大会に向けた練習などで忙しく、加盟している富良野文化協会のお手伝いも

ままならない状態でした。でも来年からは、少し余裕ができると思うので、フォークダンスを広める活動や、ボランティア活動にもっと力を入れたいです」と、今後は地域に密着した活動に力を入れていくそうです。

一転、陶芸家としての新生活がスタートしました。

南陽館裏の元教職員住宅で、奥さんと小学生の娘さんの3人で暮らす恒枝さん。自分の将来について真剣に悩み、考え抜いてきたこれまでの歩みを語る表情は、満足感にあふれて見えます。

現在、年2回1500点

ほどの作品を1週間かけて焼

き上げる大仕事をこなしながらも、陶芸サークル「こねる

べ」の講師を務め、ものづくり作家たちが集まる「ふらのクリエイターズマーケット」では実行委員長として活躍するなど、地域行事などにも精力的に関わっています。「近所はすべて農家さんで、とても良いお付き合いをさせてもらっています」と話す恒枝さん。多くの出会いとつながりから、新たな個展やグループ展のお誘いもあり、充実の毎日を送っています。



みなさんのご意見をお寄せください

《パブリックコメント手続》意見募集期間 11月2日(火)～22日(月)

原案を作成した理由

この条例は、建築基準法第68条の2第1項の規定に基づき、地区計画の区域内の建築物の用途、構造及び敷地に関する制限を定めることで、適正な都市機能と健全な都市環境を確保することを目的としています。

今回、東4条街区地区（フラノ・マルシェ北側）の再開発事業を進めるにあたり、都市計画法に基づく地区計画が7月に決定されたことを受け、条例により建物の建て方のルールを定めるため、条例の関連する部分などを改正しようとするものです。

原案の概要

適正な都市機能と土地の高度利用を確保するため、建ぺい率や容積率の最高限度や容積率の最低限度など、建物の建て方のルールなどを定めます。

市民への影響（検討の争点など）

条例の一部改正が良好な都市環境の形成に資するものであるかどうか。

今後のスケジュール

◆平成22年12月 議会提案、審議予定

富良野市地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部改正について〈概要〉

計画案（全文）の公表場所

◆行政情報コーナー（市役所1階 市民ロビー）◆都市建築課窓口◆山部・東山支所窓口◆文化会館ロビー◆図書館ロビー◆市ホームページ

意見を提出できる方

- ①市内に住んでいる方
- ②市内で働いている方、学んでいる方
- ③市内に事業所がある法人やその他の団体

意見の提出方法

- ①封書・ファックス・メールなどの書面（様式は自由）・録音テープでお寄せください。
- ②担当課窓口へ直接提出（郵送可）
- ③意見を提出するときは、住所・氏名などを記入してください。氏名などは公表しませんが、記入がない場合には回答できない場合もあります。

意見提出先／問合せ

都市建築課

〒076-8555 富良野市弥生町1番1号

TEL 39-2316 FAX 39-2332

電子メール kenchiku-ka@city.furano.hokkaido.jp

富良野消防署（富良野市）で取り扱った119番通報の受信件数は、平成21年度1年間で753件（1日平均約2・1件）です。そのうち火災通報が18件（2・4％）、救急・救助通報が617件（81・9％）で、緊急通報の割合は84・3％でした。消火活動や救急・救助活動は、1分1秒を争います。

消防署では、通報内容によって、消防車・救急車・救助工作車・ヘリコプターなどの出動（要請）を行います。もし慌てて、場所などを正しく伝えられなければ、消防車両

●通報は落ちていて正確に

毎年11月9日は「119番の日」です。昭和62年に、国民の消防に対する正しい理解と認識を深め、防災意識の高揚を図ることを目的として、消防庁が制定しました。

11月9日は「119番の日」

市政
アラカルト
11月
NOVEMBER



などの現場への到着が遅れてしまい、被害が拡大し、大惨事になったり、助かるはずの命が助からなくなる場合もあります。

●携帯電話で通報した場合

携帯電話の普及に伴い、屋外でのけがや、急病、交通事故など、携帯電話による119番通報が年々増加しています。

現在の、富良野広域連合管内の携帯電話での受信先は次のとおりです。

- ◆富良野市・南富良野町・占冠村で通報した場合↓富良野消防署
- ◆上富良野町・中富良野町で通報した場合↓上富良野消防署

各市町村の境界付近では、電波とアンテナの関係上、前記のとおり受信されないこともあります。携帯電話での通報時は、必ず事故発生場所の市町村名を伝えてください。

●正しい119番の使用を

間違い・いたずらは、平成21年度1年間で38件（5・1％）、問い合わせ・その他は80件（10・6％）でした。119番は緊急通報専用ダイヤルですので、火災・救急・救助などの問い合わせは、最寄りの消防署の一般加入電話を利用してください。

市内の火災・救助については、火災案内テレホンサービス（23・2719）を利用するなど、正しい119番の使用に協力ください。

富良野消防署 23・5119

11月の毎週木曜日 夜間納税相談窓口

を開設します

税務課では、収納対策として、また納税相談の機会を増やすため、11月の1カ月間、毎週木曜日夜8時までの夜間窓口を開設します。日中、時間がとれずに納税相談する機会がない方や、市税納付など、お気軽にご利用ください。

開設日 11月の木曜日（4日、11日、18日、25日）
時間 夜8時まで
場所 市役所1階 9番窓口（納税係）

納付が遅れる場合や、事情があって納付できない場合などは、そのまま放置せず、必ず納税係に相談ください。
税の公平・公正を期すために、相談のないまま未納を放置すると、給与や預貯金、不動産や動産などの財産を差し押える滞納処分を行います。

プロジェクト ニュース

「市税等収納対策プロジェクト」
からのお知らせ

「市税等収納対策プロジェクト」とは、平成18年度に市役所内に設置された組織で、未収金対策を行っています。副市長を本部長とし、税務課、都市建設課、上下水道課、保健医療課、こども未来課などの職員で構成されています。

「税を考える週間」富良野市での取り組み

11月11日より17日まで「税を考える週間」として、全国各地において、各種行事が行

11月11日（木）～17日（水）は
税を考える週間
です

われます。富良野市でも、市民のみなさんが税を身近なものとして考え、税の意義や役割を正しく認識し、税務行政への理解と信頼を深めていただけるよう、毎年PR活動を行っています。

【書道展の実施】

「税を考える週間」の期間中、市内児童・生徒の税に関する書道作品を、文化会館、生涯学習センター、東山支所に展示しています。



今月の納税

納付期限 11月30日（日）
（口座振替日も同日です）

- 固定資産税第3期
- 国民健康保険税第5期
- 介護保険料第5期
- 後期高齢者医療保険料第5期

今年度の差押の状況

平成22年度、市税などの滞納により差押処分を行った件数は次のとおりです。（平成22年9月末現在）

国税還付金差押	3件
預貯金差押	13件
動産差押	5件
その他差押	2件

インターネット公売 参加申込のご案内

税務課では、滞納により差し押えた動産を、インターネット上で行われる公売に出品しており、平成22年度第7

納税係より

滞納処分（差押）を行ったあとで、ようやく本人から連絡がきて事情を聞くと、「住民税の申告をしていなかった」「新しい職場で健康保険証をもらったから、国保税は関係ないと思っていた」「バイクは知人に譲ったので、軽自動車税は自分じゃないと思っていた」など・・・

必要な手続きを済ませていれば、差押処分を受けずに済んだ方もいます。まずは、連絡を！

【各種問い合わせ先】

- 税金・保険料（税務課／市税等収納対策プロジェクト事務局）
☎ 39・2302
- 公営住宅使用料（都市建設課）
☎ 39・2316
- 上下水道料金（上下水道課）
☎ 39・2317
- 保育料（こども未来課）
☎ 39・2223

回参加申し込みが、11月12日～24日の期間で行われます。出品物などの詳しい内容は、期間内に市ホームページよりご覧になれます。

カレーで富良野のPR活動などを行うふらのカレンジャー娘（緑峰高校園芸科学科家庭科班）が、日本学校農業クラブ全国大会の「文化・生活」区分で文部科学大臣賞（最上位）を受賞しました。学校給食との関わりなど、歴代のカレンジャー娘が6代にわたって積み上げてきた取り組みを発表した小澤さん（代表）ら4人は、受賞の喜びを能登市長に報告しました。



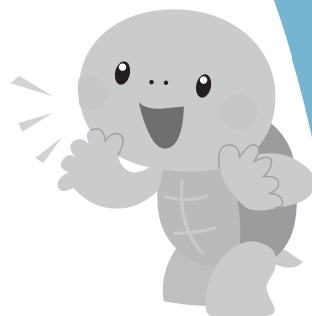
左から藤山さん、中森さん、小澤さん、大谷さん

「カレンジャー娘」が文部科学大臣賞受賞

演劇工場で10月17日、富良野森の朗読“10分間劇場”（富良野メセナ協会主催）が開かれ、来場者は、個性溢れる語り手の朗読とそれぞれの物語に合わせた楽器の演奏に聞き入りました。数学者秋山仁さんら語り手と楽器奏者のペア8組が披露。当別町から来られた女性は「昨年も来て、とても良かったので今年も来ました。楽器と物語が見事に調和し、引き込まれました」とにっこり。



森の朗読。情景ふくらむ語りと音色



東山、観光への第一歩

地域、民間、行政が一体となつて

東山フットパスツアー開催

10月16日、ウォーキングイベント『東山フットパスツアー』が行われ、初開催となる今回、市民など35人が参加し、農村風景と赤や黄に色ついた紅葉を楽しみました。東山を観光で活性化させようと市国際観光促進協議会が主催し、このイベントを東山の一つの観光資源として洗練していく考え。参加した山部在住の大川あゆみさんは「変化のある景色が良かったです。普段、車で通るけど、歩いてみると良さが分かりませぬ」といつもとは違う角度で東山を満喫。ゴールでは地元野菜で作った豚汁などが振舞われました。

地元の若者が誘導や炊きだし

農家の後継者など20、30代の若者8人がコース誘導や豚汁をつくり、参加者を歓迎しました。受け入れスタッフの小笠原博さんは「来年以降、継続してやるには地域が関わっていかないと」と取り組みに積極的に関わり、地域を盛り上げていきます。



樹海中、自作のカボチャを販売

樹海中の生徒たちは、自分たちが精魂込めて作ったカボチャを参加者に販売しました。

樹海中は、今回ゴールとなつたパークゴルフ場7月から土日限定の野菜の直売所を地元農家の方々と共同で出店していました。



西達布つつじ園を整備。観光地として再活用

10月8日、製薬会社アストラゼネカ㈱の社員30人が社会貢献事業として、地域住民と『つつじ園』の草刈りや枝払い作業を行いました。昼食には地元食材を味わい、地域の方々と交流。『つつじ園』は、今後観光資源の一つとして活用していく予定。



上富良野町

温泉で癒されてみませんか？
吹き上げ温泉の湯

十勝岳温泉郷にある「吹上露天の湯」で疲れを癒しませんか。一面の雪景色を堪能しながらの露天風呂は、最高です。ぜひ家族で十勝岳の大自然と温泉をご堪能ください。また、雪が降ることも考えられますので、運転には十分気をつけてお越しください。

問産業振興課 ☎ 45-6983

中富良野町

なかふらの産クリーン米
「みのりの大地から」を食べてみませんか

できるかぎり農薬を使わない安全・安心な平成22年産高品質一等米（玄米でJA低温倉庫貯蔵）を直前に精米してお届けします。

クリーン米の生産者は、安全のための努力を惜しみなく行ない、高い品質のクリーン米を育てました。生産者のまごころがこもったクリーン米をぜひご賞味ください。

問地域水田農業推進協議会

☎ 44-2402



南富良野町

カーリングに挑戦しませんか？

空知川スポーツリンクスカーリング場が11月1日にオープンしました。トリノオリンピックで一躍脚光を浴び、その魅力は見る人を虜にしました。「氷上のチェス」または「氷上のビリヤード」とも呼ばれ、知的で奥の深いスポーツです。ぜひ、あなたもカーリングに挑戦してみませんか？

問空知川スポーツリンクス

☎ 53-2449

占冠村

道の駅「自然体感しおかつ」

道の駅「自然体感しおかつ」には、自然や動物のパネルのほかレストランやお土産店が並んでいます。また、道の駅のポケットパークには大きな寒暖計が設置されており、寒暖計には、その年の占冠村の最低気温が表示されています。可愛い雪ダルマが乗っている寒暖計。記念撮影にいかがでしょうか。

問観光協会 ☎ 39-8010

ZOOM UP まちのできごと FURANO



市 民植樹祭が10月23日ベベルイ（原始の泉付近）で行われ、青く広がる秋晴れの空の下、多くの市民が森づくりに汗を流しました。7年目となる今回用意された苗木は、ミズナラ、イタヤカエデ、シラカバなど11種類300本。1時間かけて1本ずつ丁寧に植えていきました。ボーイスカウトからの参加者もあり、親子で協力して植える微笑ましい姿が見られました。

自分たちの未来のために。子どもたちも植樹に参加



沿 線小学生の秋季野球交流大会が10月9日山部の市民野球場で開催されました。この大会は公式戦が終わった6年生の最後の大会で、沿線の11チーム84人が混成6チームを編成、今までの練習の成果が発揮され好プレーを連発しました。普段プレーすることのない大きな球場で、小学生最後の思い出と、これをきっかけに中学生になっても野球を続けてくれればと、大会を運営する関係者は期待を寄せます。

シーズンを締めくくる少年野球大会

わたしの美術館

「着物をリメイク
タペストリー」

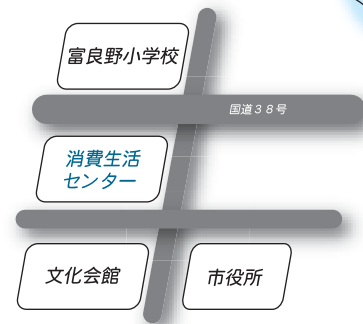


渡辺君枝さん
(東山あかしや)

着物のメリンスなどの生地をリサイクルしてタペストリーや置き物などを作っています。写真の木製のテーブルとベンチは主人の手作りです。

「わたしの美術館」では、みなさんの作品（絵・手芸・工作など）を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、たくさんの応募をお待ちしています。応募、問い合わせは…企画振興課 ☎ 39-2304

消費生活センター



消費者相談 Q & A

ホームタンク洗浄 (30代 女性)

Q 「ホームタンクを洗浄しませんか」とチラシを持った男性が訪問してきました。タンク洗浄なら5,500円、フィルター交換込みだと6,500円と書かれています。この業者は信用できるでしょうか。また自宅のホームタンクは洗浄などしたことがありませんが、そもそもホームタンクの洗浄は必要ですか。どれくらいの頻度でするものでしょうか。

A 訪問男性は札幌近郊の業者でした。この業者の信用性についてセンターが答えすることはできません。ただしこのままではストーブが故障する・火事になると不安をあたったり、洗浄作業は今日しかできない・今だけ特別料金などと言って契約を急がせるような訪問販売業者には気をつけるべきです。訪問販売では工事の後になって高額な料金を請求する、故障などが発生しても応じてくれない、または業者と連絡が取れないなどのトラブルになることもあるからです。ホームタンクは、サビや水の浸入で不完全燃焼を引き起こしたり、凍結の原因にもなりますので点検が必要です。簡単な確認方法では、タンクの下についているストレーナ（ろ過装置）の中のフィルターが汚れていれば洗浄の時期です。また、5年に一回程度を目安にします。洗浄料金など詳しいことは、購入契約をしている灯油販売店に確認ください。

消費者相談・ダイヤル交換市は

富良野市消費生活センター
若松町17番1号 ☎39-1166

月～金 午前10時～午後4時

※クリーニング・オフ葉書は富良野郵便局、若葉郵便局、各支所にも置いてあります。

ダイヤル交換市

◆登録は随時受け付けています。
◆登録期間は6カ月です。

譲ります

●エレクトーン ●本棚 ●電気炊飯器
●ピアノ ●クーラーボックス ●ベッ
ドカバー（シングル）

譲ってください

●冷蔵庫（小） ●ベビー用品（男子）
●女性用はかま（M）・和装用ボディ



消費生活センターと山部支所、東山支所に「衣類回収ボックス」が設置されています。不要になった衣類（綿50%以上のもの）の回収にご協力ください。

寄付 ありがとうございます

富良野市へ

富良野ライオンズクラブ
金満緑地公園 ニトリザクラ
30本（52万円相当）
伊藤 功さん 油絵1点（F100）

博物館へ

石橋 恭子さん
下駄1点、雪下駄1点
長江 富士男さん
イトウ剥製1点
西村 富治夫さん
蚊帳1点、ジンギスカン鍋2点
日下 民子さん
木彫り熊1点

ごみQ & A

Q 剪定枝は、どのように出したら良いですか？

A 枝は、1メートル×30センチ以内にして、荒縄や麻ひもなど天然素材のひもで縛ってください。プラスチック製の結束バンドやロープは使用しないでください。

Q 警告シールを貼られ、ごみステーションに残された場合は、どのようにしたら良いですか？

A 再度分別しなおして、次の収集日に出してください。シールをはがすが、シール上にマジックで「再分別済」または「×」と記せば、その袋を再利用して排出できます。

分別に迷ったら、市民環境課(☎39-2308)へ

仲よし兄妹♪
お父さんのコピー二人です。

左から

糸山

さき
咲さん (2歳)

そういち
颯一さん (5歳) 若葉町



わんぱくざかり

やっぱりうちの
ラーメンが一番ね♡

那須 いちか
一花さん
(1歳)
東町



お子さんの写真を募集しています！

応募は、①住所②氏名③電話番号④お子さんの名前（ふりがな）と年齢⑤簡単なコメントを添えて、持参・郵送・メールのいずれかの方法で「広報ふらの」までお寄せください。（メールアドレス kikaku-ka@city.furano.hokkaido.jp）

健康情報

Health Information

●細菌性髄膜炎って？

体の中で最も大切な部分ともいえる、脳や脊髄を包んでいる膜を髄膜といい、この髄膜の中に細菌やウイルスが感染して炎症が起こる病気が髄膜炎です。髄膜炎には、細菌が原因の『細菌性髄膜炎』とウイルスなどが原因の『無菌性髄膜炎』がありますが、治療後の経過が悪く後遺症が残るなど、特に問題となるのが『細菌性髄膜炎』です。

細菌性髄膜炎の初期症状は、発熱や嘔吐、不機嫌、けいれんなどで、風邪などと症状が似ているため、早期に診断することはとても難しい病気です。日本では、年間約1000人の子どもがかかっていると推計されており、約7%が死亡し、約30%に発達の遅れ、てんかん、難聴などの後遺症が残るとされています。

●5歳未満の乳幼児に

細菌性髄膜炎の原因となる細菌はいくつかありますが、原因の60・3%と半分以上を占めているのが『インフルエンザ菌b型』という細菌で、略して『Hib（ヒブ）』と呼

●細菌性髄膜炎のワクチン接種を

お元気ですか 保健師 です

ばれています。『インフルエンザウイルス』とは全く別の細菌です。また、原因の31・1%を占めているのが、『肺炎球菌』です。

Hibも肺炎球菌も多くの子ども達の鼻の奥やのどにいる身近な菌です。普段はおとなしくしていますが、子どもの体力や抵抗力が落ちたときなどに、いつもはいないところに入り込んで、細菌性髄膜炎をはじめいろいろな病気（感染症）を引き起こします。

細菌性髄膜炎は、5歳未満の乳幼児がかかりやすく、特にHibによる細菌性髄膜炎は、生後3カ月から2歳になるまでが過半数を占めます。

●ワクチン接種が可能に

Hibと肺炎球菌による細菌性髄膜炎をはじめとする病気は、ワクチンの接種で予防することができます。日本では、Hibワクチンは平成20年12月より（2カ月～5歳未満を対象）、肺炎球菌ワクチンは今年2月より（2カ月～9歳以下対象、任意で自己負担により接種できるようになりました。

くらし

献血は 身近なボランティア

次の日程で、移動献血車「ひまわり号」が各会場を巡回します。ので、みなさんのご協力をお願いします。

とき（11月）	ところ
5日（金） 10：00～13：00 14：00～16：30	コープさっぽろ富良野店
8日（月） 10：00～11：40 13：00～14：20 14：40～16：30	ふらの農協山部支所駐車場 旭川信金富良野支店前 富良野協会病院駐車場
9日（火） 10：00～11：45 13：00～14：30 14：50～16：30	商工会議所前 ふらの農協本所駐車場 富良野緑峰高等学校
10日（水） 10：00～14：00 14：30～16：30	富良野市役所 新富良野プリンスホテル

問保健医療課

☎ 39・2200

生ごみの収集をお休み します（3日間）

環境衛生センターの設備点検のため、生ごみの収集を休止します。

●児童書（新着）

だいじょうぶ3組 乙武 洋匡
シニガミさん 宮西 達也
プチトマトの誕生日 天野 喜孝

●一般書（新着）

風の陣（裂心篇） 高橋 克彦
業政駈ける 火坂 雅志



すみません。介護のしごと、楽しいです。
のち りょうこ・文
大越 京子・マンガ

ボケてもいいんじゃない？元ライターと元グラフィックデザイナーのふたりの新米介護スタッフが見た、笑えて泣ける認知症の世界を、マンガを交えて紹介する。

今月の注目の本

図書館だより

開館時間 火～金曜日 午前10時～午後6時
土・日曜日 午前9時～午後5時

2階展示ホール

古布遊会 11月2日（火）～14日（日）

2階多目的ホール

おはなし会 11月13日（土） 午前10時30分
英語のおはなし会 11月20日（土） 午前10時30分

1階おはなしコーナー

どんぐりおはなし会 毎週水曜日 午後3時

11月の休館日 毎週月曜日
3日（火）・23日（火）・26日（金）

問図書館 ☎ 22 - 3005

生活ごみ排出のモラル について

市内のコンビニエンスストアなどの店舗前に設置してあるごみ箱に、生活ごみを入れる方がいるようで、お店の方が大変困っています。日常生活で出たごみは、きちんと分別して、ゴミステーションなどの指定された場所

休止期間 11月18日（火）～20日（木）の3日間
ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。
問市民環境課 ☎ 39・2308

ストーカー・配偶者暴力 からあなたを守るために

ストーカー被害や配偶者暴力で悩んでいませんか？一人で悩まず、被害が深刻になる前に相談してください。相談は、警察署の相談窓口、または相談ダイヤル「#9110」へ。
現在、被害者保護のための住民基本台帳閲覧制限などの支援措置が実施されています。ストーカーや配偶者暴力を受けている被害者などの居所を、

に排出してください。
問市民環境課 ☎ 39・2308

児童虐待防止対策の 進について

児童虐待により、尊い子どもの命が奪われるなど重大な事件が後を絶ちません。「しつけのつもりは親の言い訳です」児童虐待防止には、子どもの立場に立つて考えることが必要です。

加害者に知られないようにするための措置です。くわしくは、警察署、交番・駐在所、市町村窓口にお問い合わせください。
問富良野警察署 ☎ 22・0110

いじめや差別など、人権に関する悩みごととは人権擁護委員に！

富良野市では、現在5人の人権擁護委員が、人権に関する身の上相談などの積極的な活動を行っています。人権擁護委員は、みなさんのとても身近な相談相手です。



このたび10月1日付けで、山田淳二さんが新たに人権擁護委員に委嘱され、高井敏子さんが再委嘱されました。

人権に関する悩みごと、心配ごとなどがありましたら気軽に相談ください。相談は無料で、内容についての秘密は厳守されます。

氏名	住所	電話番号
天日 守さん	北麻町6番1号	22 - 4791
高井 敏子さん	栄町8番7号	22 - 2854
藤田 幸恵さん	山部市街地	42 - 2161
荒木 美恵子さん	花園町2番14号	22 - 5536
山田 淳二さん	下御料	23 - 2945

人権擁護委員とは、法務大臣が委嘱した民間の委員で、地域に根ざした活動を行っている人たちが、地域の中で人権思想を広め、人権侵害が起きないように見守り、人権を擁護していくために設けられたものです。

問市民相談室（市民環境課） ☎ 39 - 2301

子どものサインを見落とす
てはいませんか？
◆不自然な傷やあざがある
◆着衣や髪の毛がいつも汚れている
◆表情が乏しい
◆おどおどしている
◆落ち着きがなく乱暴になる
◆親を避けようとする
◆夜遅くまで一人で遊んでいる
ちよつとした「目くばり」
「気くばり」で、子どもを虐待から救えます。おかしいと感じたら、迷わず警察や児童相談所、市町村窓口連絡して

ください。
「聞こえるよ
耳をすませば心の叫び」
問富良野警察署
☎ 22 - 0110
冬の交通安全運動
【期間】 11月12日（金）～21日（日）
市民一人ひとりが交通安全意識を高め、地域・職場・家庭などで交通事故防止に努めましょう。
運動の重点
◆高齢者の交通事故防止
◆夕暮れときと夜間の歩行中

・自転車乗車中の交通事故防止
◆凍結路面などのスリップ事故の防止
◆交差点の交通事故防止
◆飲酒運転の根絶
問市民環境課
☎ 39 - 2308
所得税が還付される場合があります
「遺族の方が年金として受給する生命保険金のうち、相続税の課税対象となつた部分については、所得税の課税対

象にならない」とする最高裁判所の判決がありました。そこで、このような年金にかかる税務上の取り扱いを改めることになりました。
これにより、平成17年分から平成21年分までの所得税が納めすぎになっている方は、その分が還付されます。お手数ですが、必要な手続をお願いします。くわしくは、国税庁ホームページ（www.nta.go.jp）をご覧ください。か、税務署に問い合わせください。
問富良野税務署
☎ 22 - 2144

11月は「労働時間適正化キャンペーン」期間です。全国一斉無料相談ダイヤルを開設しますので利用ください。
全国一斉無料相談ダイヤル
11月6日（土）
午前9時～午後5時
☎ 0120 - 794 - 713
問北海道労働局労働基準部監督課
☎ 011 - 709 - 2311

11月は労働保険適用促進強化期間です
事業主のみなさん、労働保険の加入はお済みですか。労

広告③ 21 こうほうふ No.590 広告②

働保険に加入して、従業員の
方々が安心して働ける職場にし
ましょう。

労働保険とは・・・

労災保険と雇用保険の総称で、
労働者の生活の安定、福祉の増
進などを図ることを目的に国が
直接管理運営している保険です。
農林水産業の一部を除き、労働
者を一人でも雇用する事業につ
いては、法人・個人を問わず加
入が義務づけられています。

北海道労働局総務部労働保険
適用室

011・709・2311
ハローワーク富良野
23・4121

裁判員制度説明会及び裁 判員裁判法廷見学会

とき 12月9日(木)

午後2時～3時15分

※法廷見学会は午後3時から
旭川地方・家庭裁判所

1号法廷(旭川市花咲町4丁目)
定員 先着48人

内容 裁判員
制度の説明と裁
判員裁判法廷の
見学



講師 裁判官

参加料 無料

申込み 電話で申し込みくださ
い。

旭川地方・家庭裁判所総務課
0166・51・6255

催し

あつまれ! 親子元氣アップスクール

とき 11月21日(日)

午前10時～正午

ところ 上富良野町社会教育総
合センター

対象 小学生以上(託児あり)

参加料 無料

内容

「大人プログラム」

講演「スポーツを通して人づく
り」講師 御ゴアヘッドジャ
パン 遠藤友彦さん

「子どもプログラム」

スポーツ&レクにチャレンジ!
(フットボール、ロープロ
ケット、Tボール野球盤など)
申込み 11月12日(金)までに電話
か窓口で申し込みください。

文化会館 39・2318

観覧募集!子どもたちを応 援にきませんか?

■「青少年表彰」表彰式
とき 11月23日(日)

(勤労感謝の日)

午前10時～11時

ところ 文化会館

内容 模範となる活動をして
いる青少年の個人・団体に対す
る表彰です。今回表彰を受ける
のは3団体で、山部小学校、山

部中学校、富良野東中学校野球
部です。

子ども未来づくりフォーラム

とき 11月28日(日)

午前9時30分～正午

ところ 文化会館

内容 6グループ(30人)の
参加者がまちづくりのアイディ
アを発表します。過去に発表さ
れた提言の一部は実際にまちづ
くりを活かされています。

文化会館 39・2318

富良野地区合同ワークシヨップ 「富良野地方の美しい農山 村景観維持のために」

若々しく力強い農山村と魅力
的な観光都市の発展を願って、
専門の講師と地域住民のみなさ
んが一緒に考える会です。

とき 11月26日(金)

午後1時～4時30分

ところ 文化会館

参加料 無料

内容

「新しい里山について」

講師 北海道大学教授 CEN
SUS 副センター長 大崎満
さん

「南富良野町における特定中山
間保全整備事業」

講師 森林総合研究所東北北
海道整備局南富良野事業所長

河野健二さん

「失われゆくトスカナ地方の
景観とEUの対応」

講師 東京大学准教授北海道
演習林長 芝野博文さん

主催 東京大学北海道演習林

共催 富良野地区広域市町村

圏振興協議会・森林総合研究所・

北海道大学サステナビリティ

学教育研究センター(CENS

US)

申込み 演習林へ電話で申し込
みください。

東京大学北海道演習林

42・2111(内線12)

ワークシヨップに先立ち、
現地検討会「東山地区の農
山村景観の変化の実情」を
行います。

とき 11月26日(金)

午前10時～正午

ところ 東京大学北海道演
習林山部事務所講義室

報告者 糸山健介さん(北大)

芝野博文さん(東大)

定員 先着20人

※11月19日(金)までに、はが
き(電話番号を記載)で申
し込みください。入場無料。

第3回

「ぶらのワイン・華酔祭」

ぶらのワイ
ンの新酒を発
売日の前日に
楽しむ会です。



「新酒富良野」と料理のマリアー
ジユ(組み合わせ)をお楽しみ

ください。

とき 11月16日(日)

午後7時～8時30分

ところ ぶらのワインハウス

会費 3500円(税込)

定員 先着100人

※ワイン工場で前売り券を購入
してください。(当日券はありま
せん)

ワイン工場

22・3242

刑務所作業製品展示即売 会の開催について

全国の刑務所で受刑者が製作
した家具などの展示即売を行
います。

とき 11月13日(日)・14日(日)

午前9時～午後6時

ところ ㈱ダイイチ上富良野店

(39・4100)

財団法人矯正協会 刑務作業

協力事業部旭川地方事務所

0166・58・7031

全市高齢者親睦囲碁大会

とき 11月26日(金)

受付午前9時30分～

ところ 老人福祉センター

参加資格 富良野市在住のおお
ね60歳以上の方

参加料 800円(昼食代含む)

※当日支払い

競技方法 4局打ち切り

入賞 6位まで

申込み 11月22日(月)までに直接
または電話で申し込みください。
※参加者全員に記念品を用意し
ています。

富良野市老人クラブ連合会
〒22-2001

**カンパネッタチャペルコ
ンサート「秋を歌う」**

秋の歌を中心にしたデュエツ
ト・ソロの演奏会です。
とき 11月21日(日)

午後6時開場
午後6時30分開演
ところ 富良野のぞみ教会(栄
町6番25号) 22・3682
問 赤尾さん 23・4302

募集

市営住宅入居者募集

一般世帯向け住宅 1戸

麓郷(麓郷市街地)

昭和54年 3DK

一般世帯向け住宅(単身入居可
能住宅) 2戸

樹海(東山)

昭和45年 2DK

受付期間 11月8日(月)～19日(金)

入居資格

①現に住宅に困窮している方

②税金の滞納がない方

③収入が基準以内の方

④申込者(その同居者、同居し

よつとする親族を含む)が暴力
団員でないこと
家賃 入居する方の収入によ
り決まります。

申込み 都市建築課にある申込
書に記入し、必要な書類(収入
を証明する書類など)を添えて
提出してください。

問 都市建築課

39・2316

**「北のめぐみ愛食応援団」
募集**



「愛食運動」の
輪をより一層広
げていくため、
「地産地消」「食
育」などの活動
を実践してい
たく、道内の企
業や団体(支店
支部を含む)及
び3人以上のグル
ープを募集し
ます。

「愛食応援団」の取り組みは、
北海道のホームページなどで広
く紹介されていますので、ぜひ
登録ください。
応募方法 お住まいの地域の総
合振興局または振興局に、申請
書で応募ください。申請書は
道ホームページからダウンロード
できます。

道ホームページ [http://www.
pref.hokkaido.lg.jp/ns/shs/do
sunday/ouendan](http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/shs/dosunday/ouendan)

メールアドレス [agri.business
@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:agri.business@pref.hokkaido.lg.jp)
北海道農政部食の安全推進局
食品政策課
011・204・5429

試験・講座

防火管理講習

●甲種防火管理新規講習

とき 11月25日(木)・26日(金)

午前8時30分～午後5時

ところ 上富良野消防署

受付 11月1日(月)～15日(月)

定員 100人

受講料 テキスト代(4500
円程度)

申込み 指定の受講申請書を富
良野消防署へ提出してください。

●甲種防火管理再講習

とき 11月24日(木)

午後1時～5時

ところ 上富良野消防署

受付 11月1日(月)～15日(月)

定員 30人

受講料 テキ
スト代(35
00円程度)

申込み 指定
の受講申請書を富良野消防署へ
提出してください。

問 富良野消防署

23・5119



年金だより

追納をおすすめします

国民年金には、経済的な理由などで保険料を納めるこ
とが困難な場合には、申請により保険料の全額または一
部が免除される「申請免除制度」や、障害基礎年金を受
けている方などが該当する「法定免除制度」があります。
また、若年層(20歳代)の方を対象として保険料の納付
が猶予される「若年者納付猶予制度」や学生の方を対象
とした「学生納付特例制度」もあります。

国民年金の第1号被保険者が、保険料の免除(全額免
除・一部納付)や若年者納付猶予を受けた期間、学生納
付特例に該当していた期間は、年金を受け取るために必
要な受給資格期間に算入されますが、受け取る年金額は
保険料を全額納付した場合より少なくなります。そこで、
これらの期間の保険料は、将来受け取る老齢基礎年金を
増額するために、10年間であればさかのぼって納めるこ
とができます。これを追納制度といいます。

- 追納する場合、古い分から順番になりますが、学生納
付特例がある場合は、学生納付特例が先になります。
- 免除などの承認を受けた期間の翌年度から、3年以上
経過した期間を追納する場合の納付額は、当時の保険料
額に一定の加算額が上乗せされます。なお、老齢基礎年
金受給者は追納できません。

※将来受け取る年金額を増額するためにも、余裕がで
きた時に追納することをおすすめします。

保険料の支払いはお忘れなく

問 市民環境課市民年金係 39・2301

国民年金・老齢基礎年金の裁定請求手続き

昭和20年11月生まれ(満65歳)の方は、誕生日の前日
以降に手続きをしてください。厚生年金の受給者は、
誕生月に送られてくるはがきが、基礎年金の手続きに
なります。

市役所②番窓口にお越しください。必要なものは印
鑑・預金通帳・戸籍謄本・住民票謄本などです。

黒中吹奏楽部がライブに出演

トータス松本さんと夢の共演

黒田庄中学校吹奏楽部の生徒たちが、トータス松本さんのライブに出演しました。黒中は、トータス松本さんの母校。集まった1万人のファンを前にトータス松本さんと校歌の共演、大きな拍手を浴びました。



翌日には、「西脇トータス応援団」の呼びかけで、ボランティアによる会場の清掃が行われました。
(広報にしわぎ10月号より)

こうほう 平成22年11月号 No.590

発行/富良野市

編集/総務部企画振興課広聴広報係

〒076-8555 富良野市弥生町1番1号

TEL 39-2304 FAX 23-2121

富良野市ホームページ

<http://www.city.furano.hokkaido.jp/>

編集
後記

■今年は、ふらの演劇祭の市民劇に参加したことで、とても忙しい秋となりました。深夜に及ぶ稽古、特に劇中の激しい殺陣の練習で体はボロボロになりました。今は文化祭に向けて芸能発表(マジック)の準備中。忙しかったけど充実した秋だったなあ。あらっ？初雪が降ってきました！もう冬かあ…。(う)

■特集『紫紺の背中』富良野消防団。話を聞いていくと消防団活動もさることながら、みなさんそれぞれ地域の活動にも一生懸命で、煙と汗にまみれるだけでなく、土や油や雪や子ども、いろいろなものにまみれた偉大な男たちの背中でした。小さな私の背中は今月も締め切りに追われる…あうう。(し)

広報ふらののは再生紙を使用しています

円卓を囲みて夜の茸飯
霜月や暫し無沙汰の子の安否
人並にマスク着けられ捨て案山子
栗拾い子等と競いて枝揺らし
戸をたたく訪ふ人無く秋の風
頬紅を入れて艶好し檀の実

津山 洋子
中嶋美恵子
長畑 静香
青田 博子
及川 佳寿
武部 洋子

文芸 俳句 短歌

吹く風の涼しくとほる庭の辺に
なよなよゆるる水引の花
ペダル踏みコスモス群れて咲く道を
文まつ友に九月の風を
秋の虫草のむらがり聞えくる
笑い追いかけし亡友の一周忌
笹藪を分ければキノコむらがりて
歓声あぐる秋晴れのなか
常日頃思ひ出してる歌友に
逢えた喜び例えようもなく

町屋 和子
太田 瞳子
山内 千代
三上 和子
村上 ユミ

今月のラジオ ラジオふらのFM77.1MHz

災害時には、市とラジオふらのとの協定により、災害情報が流されます。

行政情報番組 ラジオ広報「ふらの」

・放送日時 毎週 月曜日～金曜日
午後6時～6時5分

まちづくり情報番組 元気ハツラツ！まちづくり

・放送日時 11月27日(土) 午前10時～10時45分